

株主のみなさまへ

第102期 報告書

平成25年1月1日～平成25年12月31日

第102回定時株主総会決議ご通知を掲載しております (P1)



株式についてのご案内

期末配当基準日 毎年12月31日

中間配当基準日 毎年6月30日

定時株主総会 毎年3月

公告方法 電子公告 当社のホームページに掲載いたします。
(<http://www.showa-shell.co.jp/koukoku/>)

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 (0120) 782-031 (フリーダイヤル)

特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 (0120) 288-324 (フリーダイヤル)

上場取引所 東京証券取引所

証券コード 5002

ずっと走ろう。シェルと走ろう。
昭和シェル石油
<http://www.showa-shell.co.jp/>

〒135-8074
東京都港区台場2丁目3番2号
台場フロンティアビル



ずっと走ろう。シェルと走ろう。
昭和シェル石油



平成26年3月27日
東京都港区台場二丁目3番2号
昭和シェル石油株式会社
代表取締役会長
グループCEO 香藤 繁 常

第102回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第102回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

1. 第102期（平成25年1月1日から平成25年12月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第102期（平成25年1月1日から平成25年12月31日まで）計算書類の内容報告の件
上記内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の配当の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末における剰余金の配当は当社普通株式1株につき18円と決定いたしました。これにより、年間配当金は1株につき36円となります。

第2号議案 取締役8名選任の件

本件は、原案どおり香藤繁常、ダグラス・ウッド、増田幸央、武田稔およびチュウ・ナン・ヨン（以上重任）、中村高、アハメド・エム・アルクネイニおよびナビル・エー・アルヌエイム（以上新任）の8氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、増田幸央、中村高、武田稔、チュウ・ナン・ヨン、アハメド・エム・アルクネイニおよびナビル・エー・アルヌエイムの6氏は社外取締役であります。

第3号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案どおり宮崎緑（重任）、濱元節（新任）の2氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、宮崎緑氏は社外監査役であります。

第4号議案 取締役の報酬等の額改定の件

本件は、原案どおり取締役の報酬等の総額を「月額4,500万円以内」とし、従来どおり取締役の報酬額は、使用人兼務取締役の使用人分の給与は含まないものとするにつき承認可決されました。

第5号議案 役員賞与支給の件

本件は、原案どおり取締役4名（うち社外取締役2名）に対し、役員賞与総額5,620万円（うち社外取締役100万円、その他の取締役分5,520万円）を支給することにつき承認可決されました。

以 上

社会や顧客に選ばれる リーディングカンパニーを 目指して

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第102期報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

平成26年3月

代表取締役会長 グループCEO

香藤 繁 常

第102期は、昭和シェル石油が「社会や顧客に選ばれるリーディングカンパニー」となるべく推進してきた施策の成果が見えはじめ、更なる成長に向かって全社一丸となって新しいゴールを目指す1年となりました。中期経営ビジョン「EPOCH2010～変化に克ち、未来を拓く～」を体現し、当社を取り巻くエネルギー市場環境・事業環境の変化を成長の機会とする「中期経営アクションプラン」のもと、企業変革活動を推進してまいりました。そして「4つのビッグゴール」を我々の指針として明確に社内にし、方向性を共有化した上で各部門において様々な活動に取り組んでいます。

「4つのビッグゴール」

- 1) 国内最高の収益性を持つ石油事業の確立
- 2) 海外市場で戦える競争力を有する太陽電池事業の構築
- 3) 部門の垣根を超え、高度に統合された社内体制の実現
- 4) 強いチーム意識を持ち、成功に導く高いスキルと意欲を持つ社員の育成

■「中期経営アクションプラン」の進捗

「石油事業の収益力強化」「太陽電池事業の競争力強化」「電力事業の展開」「成長の芽の育成」の4つを戦略の柱とし、昭和シェルグループは社会的受諾性を高め、企業価値最大化に向けての価値観が共有された企業グループとなることを目指しています。

石油事業

昨年度はガソリンや軽油などの燃料油マージンは極めて厳しいレベルで推移し、その結果、在庫評価を除いた実質営業利益は前年比で減益となりました。しかしながら、国内最高の収益性の確立に向け、コストの合理化や付加価値を追求した製品生産・販売、抜本的な業務効率改善に取り組むことにより、確実に将来の収益力強化へ歩を進めることができました。

サービスステーションにて展開している新決済システム「Shell EasyPay」、共通ポイントカード「Ponta（ポント）」は順調に会員数を増やしており、お客様への付加価値提供、競合他社との差別化に寄与しています。また、構造的な事業効率性を高める施策として、液化石油ガス（LPガス）事業の統合に向けた検討も開始いたしました。

当社の目指す国内最高の収益性の確立にはまだ道半ばではありますが、今後もあらゆる可能性を視野に、確かな成果を求めていきます。

太陽電池事業

厳しい世界市場でも十分に戦っていける強固な競争力の確立に向けた取り組みを進めています。昨年は、主力のパネル工場である国富工場を2011年の稼働開始以来、初めて通年でフル稼働させることができました。この背景には、国内太陽電池需要の急速な高まりに加え、自社の努力として「工場の安全かつ効率的な運転」「パネルの高出力化を可能とする技術力の向上」「製品の強みを十分に活かした機動力のある販売体制」の実現が挙げられます。その結果、太陽電池事業を含むエネルギーソリューション事業は、2009年度に事業セグメントとして設立されて以来、初の年間営業黒字化を達成し、前年比で300億円を超える収支改善を果たしました。

再生可能エネルギー買取制度により、国内需要は暫く高いレベルで安定的に推移すると考えられますが、中長期的には成長機会を求めて海外市場に進出していく必要があると考えます。そのための第一歩として、昨年12月には4番目の工場となる東北工場の投資を決定し、品質、性能、および生産コストにおいてグローバルでのトップレベルの競争力を確立していきます。また、昨年11月に新製品の超軽量薄型パネル「Solacis neo」の販売を開始しました。

電力事業

電源規模の拡大と発電源の多様化を進めています。昨年は、安全かつ安定した自社発電所稼働のもと、社会への電力供給に貢献しながら、収益は安定的に推移しました。

将来の新たな発電ソースとしては、2012年に投資決定した扇島パワーステーション第3号機に加え、木質ペレットなどを燃料とするバイオマス発電所の投資も決定しました。当発電所は、高度化法の義務付けに他社に先駆けて閉鎖した東亜石油京浜製油所扇町工場の跡地を

有効活用したものです。自社の高い発電性能を持つCIS薄膜太陽電池および石油事業に供されている資産（遊休地）を活用した太陽光発電所の投資決定も順次行うなど、当社グループの強みを最大限活かした事業展開を目指しております。

今後も事業規模の拡大・多様化に取り組み、同事業が石油事業・太陽電池事業に次ぐ第3の収益の柱として成長すべく、推進してまいります。

■ 事故ゼロに向けての取り組み

「健康（Health）・安全（Safety）・危機管理（Security）・環境保全（Environment）」は全事業の基盤であり、意識や管理体制の改善を常に行っております。地域環境・従業員の安全・災害等緊急事態への適切な対応を確保することを通じ、エネルギー会社としての社会的責任と役割を果たすべく努めております。

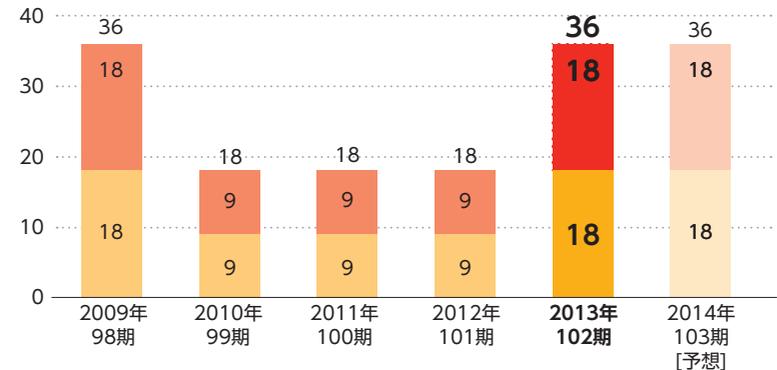
■ 株主還元の方針について

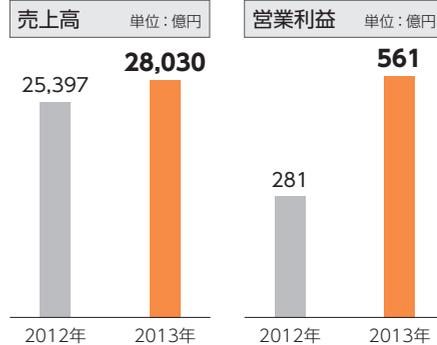
「中期経営アクションプラン」で、「成長戦略を維持しつつ、安定的かつ魅力的な配当の実現」という経営目標を掲げています。昨年度は、2010年度に18円に変更させていただいた1株当たりの配当金額を、従前の36円まで増配いたしました。株主の皆様には太陽電池事業の育成に多大なるご理解を賜り、改めて深く御礼申し上げます。これからも株主の皆様への適切な利益還元を重要な政策のひとつと位置付け、実施してまいります。

今後におかれましても、一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

配当金の推移

■ 中間 ■ 期末（単位：円／1株当たり）





生産・販売について

国内のガソリンなどの燃料油市況は年間を通じて低調に推移する一方で、石油化学製品の市況は比較的堅調に推移しました。このような環境下で、当社は国内の燃料油販売において、従来から推進してきた共通ポイントサービス「Pont (ポンタ)」や顧客利便性の高い新決済システム「Shell EasyPay」の展開に努め、潤滑油などの高付加価値商品については、新製品の発売に加え、よりきめ細かに顧客ニーズに応える提案型営業を展開するなど、付加価値の向上に努めました。そして更なる収益の最大化を図るべく、「軽油を中心とした海外製品輸出」[石油化学製品の生産・販売最大化]を積極的に実施しました。

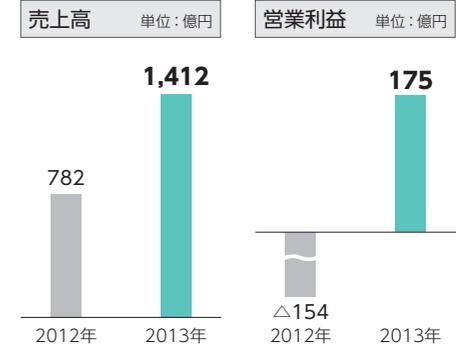
グループ製油所においては、法定の定期修理を除き計画外停止は無く、安定的に高稼働を維持し競争力の源泉となりました。

国内最高の収益性を目指して

昨年は中期経営アクションプランの実行初年度として、構造的なコスト削減および付加価値創造への取り組みを始動しました。石油事業のビッグゴールである「国内最高の収益性確立」に向け、「抜本的ビジネスプロセスの見直し」「全社最適の徹底」「顧客ニーズに基づく付加価値提供」等を通じ、2015年までの3年間に少なくとも260億円の収益性改善を図ります。既に各分野で「ダントツプロジェクト」と称する変革活動が立ち上がり、順調に成果を上げ始めております。

持続的成長への活動

製品供給の分野においては、東燃ゼネラル石油株式会社との協業に向けた検討を進め、一部分野においては既に施策を開始しています。液化石油ガス (LPガス) 事業においては、当社を含めた4社による事業統合に向けた検討を開始しました。これらの活動はコスト面だけではなく販売面においても事業効率性を高め、将来の競争力強化につながる取り組みであります。



太陽電池事業部門

生産・販売について

2012年に導入された再生可能エネルギー固定価格買取制度が普及の後押しとなり、太陽光発電システムへの関心が高まる中、国内需要は急速に拡大し、当社太陽電池パネルの出荷量は大幅に増加しました。主力工場であるソーラーフロンティア国富工場は年初よりフル生産体制を継続し、また一時休止していた第2工場の稼働を7月に再開して、生産量の最大化に努めました。また、独自の最先端CIS技術開発の成果である2製品 (Solacis neoおよびSF170-S) を新たに発売開始しました。

将来の競争力強化に向けた取り組み

近年は収益性のより高い国内市場向け販売を強化しつつ、将来に向け世界市場を見据えた事業展開の準備も進めております。国内大型ソーラープロジェクトを対象とした投資会社の設立をはじめ、太陽電池パネルの更なる高出力化の実現、次世代太陽電池「CZTS太陽電池^[※]」などの研究により、経済性・環境性に優れた技術の開発を推進しました。また、2015年3月までに稼働開始を予定している4番目の生産拠点となる「東北工場」は、更に競争力のある技術の確立を目指すなど、海外生産拠点の礎となるモデル工場と位置付けております。

[※] CZTS太陽電池…銅、亜鉛、スズ、硫黄、セレンで作られた次世代太陽電池

電力事業部門

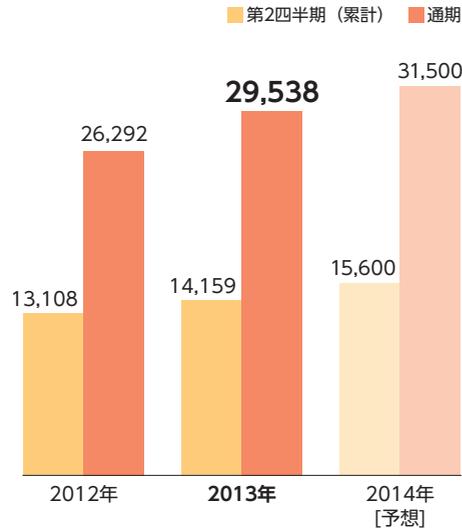
生産・販売について

天然ガス火力発電所である扇島パワーステーションおよび京浜製油所構内に立地する石油系副産物で発電するジェネックスは、定期点検を除いてともに通年フル稼働しました。国内の電力需要に対応し安定供給に貢献しつつ、堅調な収益を維持しました。

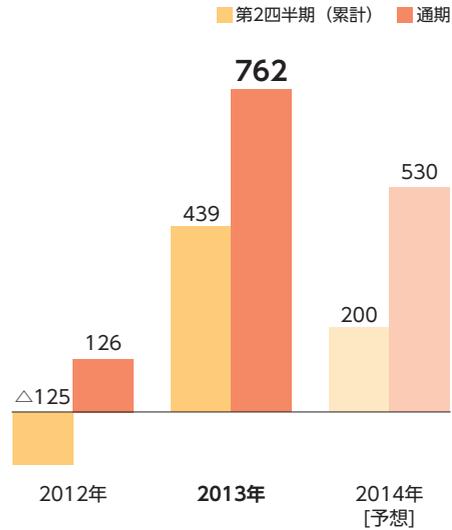
発電源の拡大および多角化に向けて

再生可能エネルギーの需要が高まる中、当社は木質ペレットを主な燃料とするバイオマス火力発電所の建設を決定しました。先に決定した扇島パワーステーション第3号機の建設も順調に進んでおり、将来の電力事業拡大に向けた歩みを着々と踏み出しております。

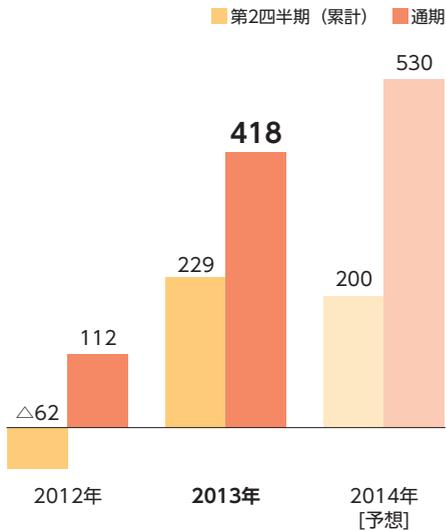
売上高 (単位: 億円)



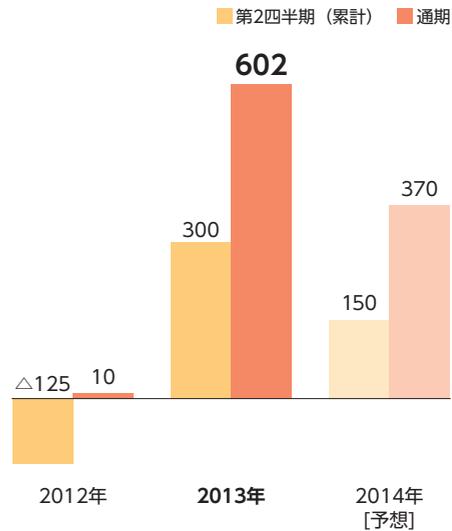
経常利益 (単位: 億円)



在庫評価の影響を除いた経常利益 (単位: 億円)

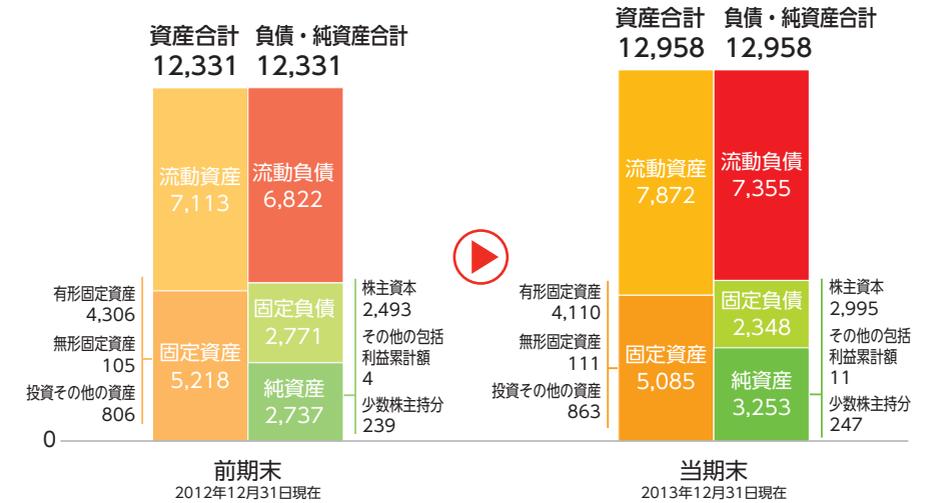


当期純利益 (単位: 億円)

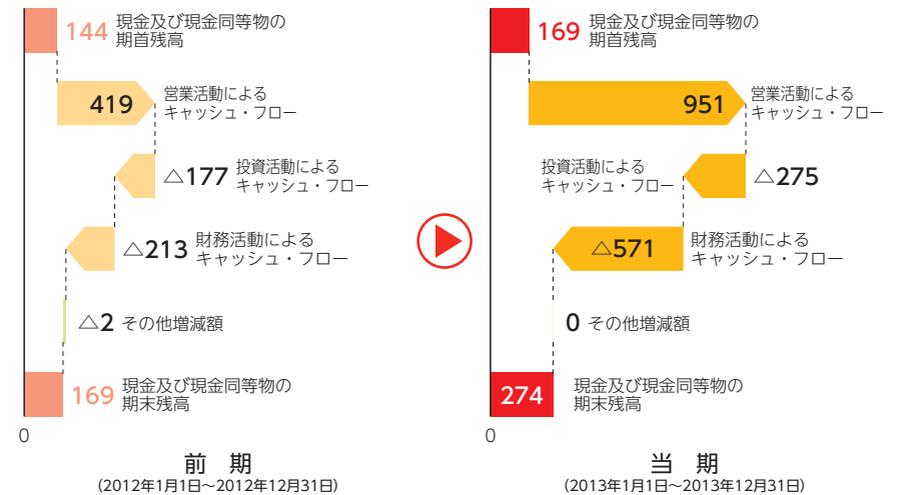


連結貸借対照表の概要 (単位: 億円)

※金額は単位未満を切り捨てて表示しています。



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 億円)



石油事業



「圧倒的なお客様満足No.1の獲得」 お客様のニーズにお応えできるサービスを展開

SSでの販売においては、お客様に利便性の高いサービスを提供することで、より多くのお客様に選ばれるSSを目指しています。

現在導入しているサービスの付加価値を高めていく施策として、「Shell EasyPay」、**「シェルスターレックスカード」**、共通ポイントカード**「Ponta (ポンタ)」**を拡充し、それぞれ独自の特徴をもったサービスを展開しております。これからもお客様一人ひとりのニーズにお応えできる最適な製品・サポートを提供してまいります。

ご存知ですか？

**便利で
お得な
サービス**!

Shell EasyPay

Shell EasyPayとは、ICキーホルダーをクレジットカード代わりに読み取り機にかざすだけで、いつもの給油メニューのご注文・お支払いができる、かんたん、便利な決済ツールです。

※クレジットカード情報はShell EasyPay本体には登録されません。



シェルスターレックスカード



2014年4月 スタープライズコースが業界最強クラスのキャッシュバックにリニューアル!!

- ハイオク最大13円/L還元!
- レギュラー・軽油最大8円/L還元!

(※WEB明細登録、5スターの場合)



選べる2つのコース

- ★使えば使うほど、ガソリン代が安くなる!
スタープライズコース (キャッシュバックコース)
- ★ポイントをためてプレゼント!
シェルわいわいコース (ポイントコース)

共通ポイントカード 「Ponta (ポンタ)」



ポイント
ポンポンたまる!
つかえる!

昭和シェル石油サービスステーションの他、様々なPonta提携店舗でご利用できる便利な共通ポイントカードです。

※一部Pontaがご利用いただけないサービスステーションがございます。



LPガス元売事業の統合および 小売販売事業の統合に関する検討を開始

12月24日、当社とコスモ石油、住友商事、東燃ゼネラル石油の4社グループにおいて、LPガスの国内卸売、物流、出荷基地の運営、輸入・調達、並びに海外トレーディングの一貫した事業体制を構築し、国内トップクラスのLPガス元売会社となることを目指し、事業統合の検討を開始しました。また、LPガスの小売販売事業の統合についても、当社とコスモ石油、住友商事で検討を開始しました。

LPガスの元売事業・小売事業の持続的な発展と安定供給の構築を目指すものです。

エネルギーソリューション事業



CIS薄膜太陽電池新工場「東北工場」の建設を発表

150メガワットの公称生産能力を持つCIS薄膜太陽電池新工場「東北工場」の建設を発表しました。この工場は4番目の生産拠点であり、宮城県大衡村（おおひらむら）に立地します。最新の量産技術は従来より高性能な製品をより効率的に生産することを可能にします。その結果、変換効率を向上させた高性能CIS薄膜太陽電池パネルの生産を、世界トップクラスのコストで実現できます。この東北工場は国外市場を視野に、海外生産拠点を展開するためのモデル工場としての役割も担います。(稼働開始目標は2015年3月)



■ 完成予想図



ソーラーフロンティア、オフィシャルFacebookページ &Twitter更新中!

ソーラーフロンティアでは皆様へ向けて、リリースや商品情報、その他太陽に関するトピックスなど、様々なお役立ち情報をFacebookページやTwitterから発信する取り組みを行っています。メガソーラーマップの更新情報や、新製品Solacis neo (ソラシス・ネオ) 開発の裏側まで、ソーラーフロンティアに関する最新ニュースやレア情報をいち早くご覧いただけます。是非いいね&フォローをよろしくお願いいたします。



Twitter URL:
https://twitter.com/Solar_Frontier



FacebookページURL:
<https://www.facebook.com/SolarFrontierJapan>

CSR活動



環境フォト・コンテスト「わたしのまちの〇と×」 身近にある「大切さ」を写真に映し出す



見落としてしまいがちな身近な風景から、環境問題に対する新たな視点を発掘し、その視点を広くお知らせし、問題解決のために、私たち企業と個人一人ひとりが考え行動する、社会的ムーブメントにつながることを目的とし2005年に創設されたフォトコンテストです。第9回目を迎え、小学生から80代まで5,418点の応募がありました。多くの学校で当コンテストが夏休みの課題や環境教育教材として採用されており、子どもたちに環境について考え、行動する「きっかけ」を提供することで次世代育成に貢献しています。

第9回 ジュニア部門 金賞作品



○の写真はカブトムシが自然の森の中で生き生きと過ごしている写真です。×の写真は、大切な命に人間が値段をつけて販売している写真です。私達人間の勝手な都合で虫たちを元の生活場所から連れざり、人間がつくったせまい虫かごの中に拘束し、人工の昆虫ゼリーを食べさせ、慣れない環境であきたり死んでしまったら捨ててしまいます。無責任だとは思いませんか？

第9回 一般部門 金賞作品



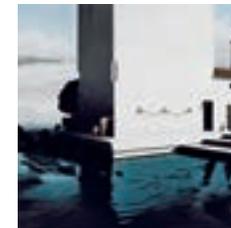
先進的なビル群、色とりどりの光…東京の夜景はその美しさから世界的にも高い評価を受けている。水辺に立つスカイツリーと青色のLEDに彩られた川は、まさに「Cool Japan」の代名詞。一方赤く色づく猛暑の東京タワー。コンクリートに覆われた都心は、ヒートアイランド現象により「Hot」な街に変わってきている。日本の先進的な文化を世界に向けて発信する一方、その内実まで「Cool」であると言えるのだろうか。



シェル美術賞

「シェル美術賞」は、団体展の賞を除いて独立した美術賞が無いに等しい時代の1956年に、国内の文化・美術の発展に寄与する目的で創設された、企業主催の完全公募の美術賞です。創設から半世紀以上が経過した現在では「若手作家の登竜門」として評価を受けるまでに成長しました。

創設後42回目の開催となった2013年は、698名の作家（40歳以下対象）から1,001点の作品の応募がありました。厳正な審査にて選出された受賞・入選52作品の展覧会「シェル美術賞展2013」を国立新美術館にて開催し、12月の会期中6,815名のお客様にご来場いただきました。

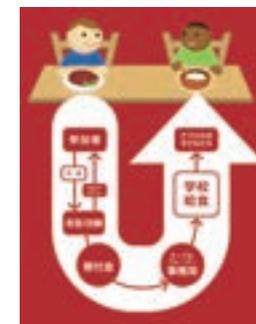


シェル美術賞2013グランプリ



「TABLE FOR TWO」の実施 社員食堂の一食が アフリカの子どもの一食に

「TABLE FOR TWO」とは、社員食堂で提供される“ヘルシーメニュー”を購入することにより、売り上げに含まれる寄付金が、NPO法人TABLE FOR TWO Internationalを通じて開発途上国の子どもたちの学校給食に寄付される支援活動です。従業員にとっては社会貢献活動に取り組む機会となり、同時にヘルシーメニューを通じて自分自身の健康意識が高まります。健康に良い食事をとることが、子どもたちの育成につながるプログラムです。



(提供 TABLE FOR TWO International)



社会的責任投資 (SRI) の構成銘柄に採用

当社の社会的信頼度と財務内容が高い評価を受け、2014年1月より「モーニングスター社会的責任投資株価指数 (MS-SRI)」の構成銘柄に採用されました。MS-SRIは、モーニングスター(株)が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数です。



役員の状況 (2014年3月27日現在)

代表取締役会長 グループCEO	香藤 繁常	執行役員 石油事業COO	亀岡 剛
代表取締役 グループCFO	ダグラス・ウッド	執行役員 エネルギーリ ーソリューション事業COO	玉井 裕人
取締役	増田 幸央	専務執行役員	平野 敦彦
取締役	中村 高	常務執行役員	伊藤 智明
取締役	武田 稔	常務執行役員	井上 由理
取締役	チュウ・ナン・ヨン	常務執行役員	新留 加津昭
取締役	アハメド・エム・アルクネイニ	常務執行役員	ブルックス・ヘリング
取締役	ナビル・エー・アルヌエイム	執行役員	小林 正幸
常勤監査役	山田 清孝	執行役員	吉岡 勉
常勤監査役	濱元 節	執行役員	森下 健一
監査役	宮崎 緑	執行役員	鈴木 達也
監査役	山岸 憲司	執行役員	栗谷川 悟
		執行役員	阿部 真
		執行役員	渡辺 宏
		執行役員	飯田 聡

(注) 1. 取締役増田幸央、中村高、武田稔、チュウ・ナン・ヨン、アハメド・エム・アルクネイニおよびナビル・エー・アルヌエイムは、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
2. 監査役宮崎緑および山岸憲司は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

ホームページのご案内

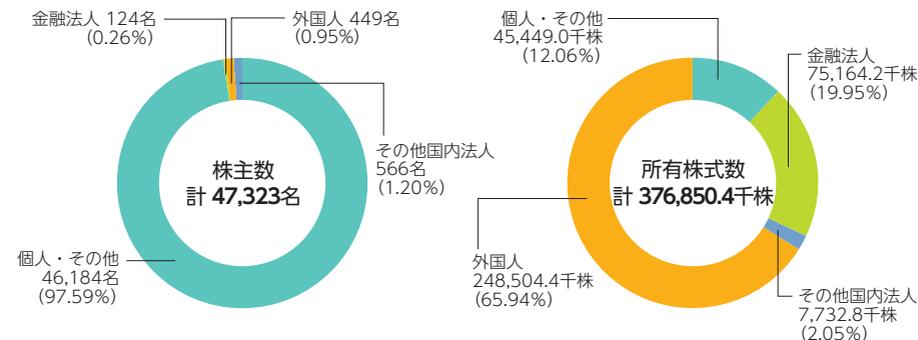
当社はIR情報をホームページの「株主・投資家情報」に掲載しております。中期経営アクションプラン、トップメッセージ、事業概要、決算短信、プレスリリースのほか市況・事業環境データなども掲載しております。ぜひご覧ください。



当社ホームページ「株主・投資家情報」

<http://www.showa-shell.co.jp/ir/index.html>

所有者別の分布 (2013年12月31日現在)

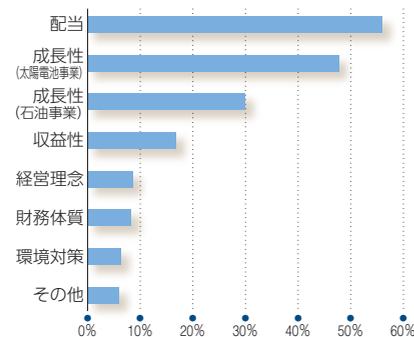


株主アンケート結果のご報告

2013年9～10月に実施させていただきました「株主アンケート」につきまして、5,200名を超える株主の皆様からご回答をいただきました。皆様のご協力で心から御礼申し上げます。その一部をご紹介します。

■当社株式をご購入された理由

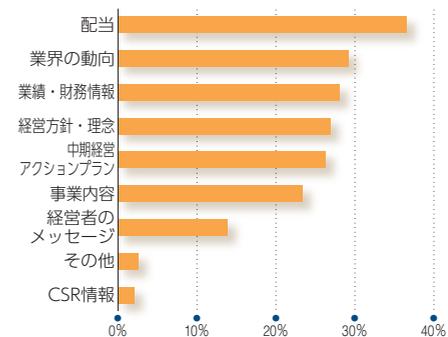
(複数回答可)



「配当」と「成長性」に高い関心をいただいております。今後もご期待にお応えできるよう努めてまいります。また「その他」の回答で、「ガソリンスタンドをよく利用しているので」というSSユーザーの株主さまも数多くいらっしゃいました。

■当社についてもっとお知りになりたい情報は何か。

(複数回答可)



幅広い分野の情報に対するご要望をいただいております。今後も株主さまのお役に立てる情報を発信してまいります。